

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
ソーシャルワーク演習 (専門) A		選択	2	3	後期		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー				
宮澤 江梨子	講師控室	kyoumu	随時メールにて質問等受付				
授業の目的・概要	<p><目的>これまでの講義で学んできたソーシャルワークの視点、価値、理論、知識、技術について、演習を通して、実践的に習得することを目的とする。</p> <p><概要>演習の意義と目的を学習した後、精神保健福祉に関する援助技術について、教科書の事例を基にディスカッション及びグループワーク等の演習を実施する。</p>						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク						
学習上の助言	ソーシャルワーク及び精神保健福祉に関する知識・技術を理解している前提で進めるため、不安な部分については復習をしておくこと。						
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [精神専門] /編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版						
参考書	なし						
外部教材	なし						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	相談援助の際の具体的な援助技法や知識を理解し、説明することができる。			HC(1)~(3)、(5)			
②	ソーシャルワークの理論と実践を結び付け、基本的な援助方法が実践できる。			HC(1)~(3)、(5)			
③	相談援助における精神保健福祉士の役割を理解し、説明することができる。			HSU(6)、HC(2)、(4)、(5)			
④							
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション：講義概要、進め方、評価方法等を理解する。	講義	「ソーシャルワーク演習」の振り返りをする。		6		
2	個人に対する相談援助を理解する① ー心理社会的アセスメント	演習	講義中に指示する事例を読み、分からない用語や制度がでてきた場合には調べてくる。		4		
3	個人に対する相談援助を理解する② ーチーム医療、制度の説明	演習			4		
4	個人に対する相談援助を理解する③ ー地域移行	演習			4		
5	個人に対する相談援助を理解する④ ー退院支援と地域定着支援	演習			4		
6	グループにおける相談援助を理解する① ーグループワークの必要性	演習			4		
7	グループにおける相談援助を理解する② ー展開過程と精神保健福祉士の役割	演習			4		
8		演習			4		
9	コミュニティソーシャルワークを理解する① ーニーズの把握	演習			4		
10	コミュニティソーシャルワークを理解する② ープランニング	演習			4		
11	コミュニティソーシャルワークを理解する③ ー社会資源の活用と開拓	演習			4		
12	コミュニティソーシャルワークを理解する④ ーネットワーキングとソーシャルアクション	演習			4		
13	事例検討①実際に起きた事件をソーシャルワークの視点から考える。	演習 グループワーク			ニュース等を読み、実際に社会で起きていることについて調べる。		4
14	事例検討②身近な出来事から精神保健福祉について考える。	演習 グループワーク					4
15	全体のまとめと振り返りを行う。	講義・演習			全体の振り返りをする。		2
試							

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	40	0	60	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	10	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	演習、グループワークの報告での姿勢や内容等により評価する。評価は他の学生の発表に対する反応（意見、質問等）、リアクション等も対象とする。				他の学生からの反応も踏まえて講義中または次の講義時にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパー（30点）と授業への参加態度・意欲（30点）で評価を行う。				リアクションペーパーについては、次の講義の始めにフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルワーク演習」の単位を修得していることが履修の条件となる。 ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合があります。 ・講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合があります。 						